

第 114 号

2016 年 3 月

ラルーラ通信

<発行>

中部学院大学
子ども家庭支援センター
〒504-0837 岐阜県
各務原市那加畑田町30-1
Tel.058-375-3605
fax058-375-3609



気長に待つ心

中部学院大学教育学部学部長
教授 宮本正一

今から6年前、旅先でミニカトレアに出会いました。ランには多少興味を持っていましたので、すぐに気に入ってしまいました。大きなカトレアの華やかさとは異なり、可憐な花でした。大切に持ち帰り、温かい部屋の出窓に置き眺めて過ごしました。

翌年からは咲きませんでしたが、液肥や温度管理等をして5年ほどが経ちました。もう咲くことを諦めていましたら、今年、なんと蕾が出てきたのです。感激一入です。

子育ても植物を育てることと同じように、すぐにはうまくいきません。まして人間を育てることはもっと複雑で、一人一人の個性に応じた対応は百人百様です。育児書には、「何歳で何々ができるようになります。」と書いてありますが、あくまでの目安であって決してその通りに育つことはないのです。そのことは残念ながら、子育ての終わった後で気付くのです。子育ての最中は、「ただ夢中で、心配で、大丈夫かな?」の連続でした。多分、子育て中の皆さんはそうした悩みを持ちながらの毎日かと思われる。

私の子育てについて少し述べたいと思います。長女の場合は育児書を頼りに子育てをしましたので、多少「転ばぬ先の杖」のような育て方になったように思います。発熱や発疹等すれば、まず育児書を見て「何何の病気だから、すぐに、何病院へ・・・」と多少、神経質になっていました。また、立ったり歩いたり所作ができるようになったりしたときは、妻と喜びや感動を共有したものです。二女の場合は「経験知」による「気長に待つゆとり」のある育て方に変わってきたように思われます。ゆとりというと素敵に思われがちですが、仕事の忙しさが増してきて「まあ、なんとかなるさ。」とか「長女の時と同じ症状だから・・・」と落ち着いて育児ができたと思われます。

たった二人の子育てでもこのように大きな違いがあります。ですから初めての子育てをされている方にとっては、不安が多いことでしょう。しかし、育児は他人との比較ではありません。発達も個人差が大きいのです。今できないことも、知らないうちにできるようになっていることが多いのです。目の前の御子さんの姿が「生きるエネルギー」そのものなのです。「泣くこと、怒ること、笑うこと、寝ること・・・」すべての感情や行動が、人として生きることの原点であるということです。

そうしたことを踏まえて毎日の子育てをされることをお勧めします。一緒に過ごせることの喜びを大切にされて、子どもを育てるということだけでなく、子どもに自分を育ててもらっているということを念頭に過ごす子どもも親も共に成長されると思います。やがていつか、願っていたような花が咲くことでしょう。

植物には言葉がありませんが、お世話しただけそれに応えてくれます。人を育てるということにも何か通じることがあると思います。

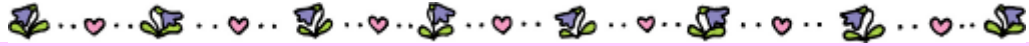


2015 年度を振り返って

今年度も、たくさんの子どもの笑顔・学生の笑顔・地域の方々の笑顔に触れることができ、大勢の方との嬉しい出会いもたくさんありました。そんな一年間の思い出の一部をご紹介します。



春



みんなで遊ぼう 毎月1回
親子で遊びながらも友達を意識できるようなプログラムで遊びました。

子育て実践プログラム

学内各分野の専門家が講義や講座を開きました。専門ゼミ生も加わったりして季節に応じて多彩なプログラムを楽しみました。

「英語の苗床を作りましょう！」
片桐多恵子短期大学部学長



「音楽とともに子育てを！」
岡田森子幼児教育学科准教授



誕生会 (毎月最終金曜日)
当月生まれのお子さんをみんなでお祝いしました。
誕生カードに加え、みんなからお花のプレゼントもありました。



赤ちゃんサロン (毎月最終木曜日)
赤ちゃん(0歳児)とお母さんと一緒に過ごすおしゃべりサロン。



夏



にこにこ広場 (毎月1回)
親子遊びを中心に、親子1対1でじっくりいろいろな遊びを体験しました。

夏祭り
地域の方々と共に学生企画の夏祭りを開催しました。



水遊び・砂遊び
戸外デッキで思い切り水遊びを楽しみました。



「玉ねぎの収穫」
昨年冬に植えつけ、夏の初めに収穫しました

ラ・ルーラ畑にて
冬から翌年の春にかけて植え付けてみんなで世話をし、旬の野菜の収穫をしました。



「プチトマトの収穫」



「サツマイモ掘り」
春から草引き・水やりなどみんなで世話し待ちに待った芋ほりでした。

秋



お話の時間 (毎日 11 時頃) 移動図書館 (毎月 1 回)
 毎日のお話の時間に加え、毎月各務原キャンパス図書館より、本の紹介や読み聞かせに来てもらっています。



お母さんのためのリフレッシュ講座 (毎月 1 回)
 趣味の講座です。今年も少し手の込んだ作品を個々に応じて時間をかけて仕上げました。お母さん方の充実感や達成感そして仲間作りへと繋がりました。



ランチタイムコンサート (毎月 4 回)
 吹奏楽部有志 (子ども教育学部学生) による生演奏。毎回趣向を凝らし、音楽を楽しむ楽しい催しとなりました。



「ハロウィンを楽しむ！」

学生企画の催し。仮装用のマントと帽子を親子で作って身に着け、学内を練り歩き「言語による表現活動」の授業にも参加させてもらい英語の手遊びも楽しみました。



冬



週替わりの遊びのコーナー
 常設の遊具に加え新聞紙プール・カプラ・デュプロなどのコーナーを準備し遊びに変化をつけました。



作って遊ぼう! (毎月 1 回)
 割り箸鉄砲・段ボールカーリング親子で一緒に遊ぶおもちゃを作って遊びました。

制作コーナー (土・火曜日)



クリスマス会 節分 (まめまき)
 学生を中心とした季節の行事や催しも数多く開催しました。



学生とのかかわり
 実習や授業の他にも子どもたちやお母さん方とのかかわりを持ちました。





＜ラ・ルーラ開設日＞火・水・木・金・土曜日（時間 10:00～16:00）

催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。



4 月の予定

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8 11:00～ 移動図書館 (読み聞かせ)	9 作って遊ぼう 11:00～
10	11	12 11:00頃～ お母さんのための リフレッシュ講座	13	14 ママと遊ぼう 11:00～11:45	15	16
17	18	19	20	21 みんなで遊ぼう 11:00～11:45	22 4月の誕生会 12:40～13:00	23
24	25	26	27 赤ちゃん集まれ 11:00～11:45	28	29	30

来年度の各サロンや行事の内容は、更により良い内容にと考え、見直しも含め検討しております。

3月下旬頃、ラ・ルーラ室内に掲示します。お気軽にお問い合わせください。

電話：058-375-3605 FAX：058-375-3609

今年も多くのみなさんとの出会いがありました。

小さな子どもを中心とし数々の出会いから
お母さん方との出会いそしてお父さんへと繋がり
そして地域の方々との出会いへと広がり
それが更に大きな繋がりへと広がりました。

そんなみなさんのたくさんの笑顔に支えられながら
ラ・ルーラも一緒に歩むことができました。

これからも出会いを大切にしながら繋がりを深め
皆さんと一緒に歩めるラ・ルーラでありたいと思っています。

一緒に元気に過ごせることの幸せを感じ
皆様に感謝すると共に
来年度もどうぞよろしくお願い致します。

